

Phys.Rev. A.Irizawa, A.Higashiya, S.Kasai,
T.Sasabayashi, A.Shigemoto, A.Sekiyama,
S.Imada, S.Suga, H.Sakai, H.Ohno, M.Kato and
K.Yoshimura

(学会口頭発表)

(1) A.Sekiyama and S.Suga, Invited talk in
Int.Conf.Electron Spectrosc. Struct., Uppsala

(2003), to be published in J.Electr.Spectrosc.
Rel.Phenom.

(2) S.Suga, Invited talk in Realistic Theories of
Correlated Electron Materials, Kavli Institute
for Theoretical Physics, Santa-Barabar,
Nov.(2002).

「専用ビームライン 中間評価」について

財団法人高輝度光科学研究センター
利用業務部

専用ビームラインは、設置者の利用目的に添った計画によりSPring-8に設置されたビームライン(以下BLと記します)で、現在9本が稼働中です。専用BLの利用計画及び装置の仕様は、専用施設検討委員会における科学技術的な観点からの審査を経て、諮問委員会で承認されています。また、SPring-8のBLは設置可能な数が限定されていますので、専用BLの利用計画は10年間の期限を設けています。専用BLの使用開始後、財団による専用BLの据付工事承認日から5年を目安に専用施設検討委員会がその使用状況及び研究成果等の中間評価を行い、諮問委

員会で承認することとしています。これを受けて、専用BLの利用等の見直し(継続、変更、中止等)が行われます。

専用BLとして最初に設置後5年を経過した兵庫県BL(据付工事承認日:平成9年11月14日)の中間評価が平成14年10月11日に行われました。評価結果は、5項目の留意点をつけて「継続」となりました。今後、他の8本の専用BLについても、5年を経過すれば専用施設検討委員会が中間評価を行うこととしています。